

こんしゅう
今週のタラッパン



使 1:14 この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

1. タラッパンには3つの時刻表があります

- 1) キリストで終わった証拠です（ヨハ 19:30、使 1:1）
- 2) 待つことの証拠です（使 1:3）
- 3) 挑戦する証人の時刻表です（使 1:8）

2. タラッパンは、答えを持って集まる場所です

- 1) 120人の弟子は聖霊に満たされる働きを待っていました（使 1:8）
- 2) 彼らはマルコの屋上の間に集まって集中して祈りました（使 1:14）
- 3) 彼らに五旬節に聖霊に満たされる働きが起こりました（使 2:1～14）

3. 未来を見た人がいるところです

- 1) 世界福音化の契約を見た人たちは（使 1:8）
- 2) 15か国の産業人弟子たちです（使 2:9～11）
- 3) 約束された聖霊の働きを体験しました（使 2:17～18）

聖日（主の日）のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。（ヨハネ 4:24）

✔ 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

Blank lined area for writing the title and scripture passage.

こんしゅうにぎ
今週握るみことば

こんしゅうのいの
今週の祈りの課題

Blank lined area for writing the weekly prayer theme and the words to be held.

がくいんふくいんか
45か

こんしゅう 今週のチームの働き



使2:9~11 私たちは、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人、またメソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポントとアジア、フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人たちで、ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞くとは。

1. 使2:9~11

15か国から来た産業人弟子が答えを受けました

2. 使6:7、使7:1~60、使8:4~8、26~40

- 1) 弟子たちが起きて多くの祭司たちに答えを与えました（使6:7）
- 2) ステパノはいのちをかけて福音をあかししました（使7:1~60）
- 3) ピリポはサマリヤを生かし、エチオピアの宦官に答えを与えました（使8:4~8、26~40）

3. 使10:1~6、45

皮なめしのシモンの家にいたペテロはコルネリオに答えを与えました

4. 使11:19~30、12:1~25

迫害の中で重職者たちが起きて伝道と宣教する教会を建てました

5. 使13:12、16:19~40、使17:1、18:4

パウロは総督、看守に福音をもって答えを与えました

にちよう
じゅんぴ

せいじつ しゅ ひ
聖日（主の日）のために、
れいはい じゅんぴ れいはい
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
わたし せいかつ てきよう
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

10

聖日（主日）

かみ れい かみ れいはい もの れい
神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
れいはい
礼拝しなければなりません。（ヨハネ 4:24）

✔ 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

せいしよ
聖書

けんきん
献金

ひっきようぐ
筆記用具

こ いの てちよう
＜子どもの祈りの手帳＞

しゅうほう よ
週報を読む



タイトル

せいしよかしよ
聖書箇所

こんしゅうにぎ
今週握るみことば

こんしゅう いの かだい
今週の祈りの課題

かくいんふくいんか
46か

こんしゅう 今週のミッションホーム



使 18:14~28 さて、アレキサンドリヤの生まれで、雄弁なアポロというユダヤ人がエペソにきた。彼は聖書に通じていた。この人は、主の道の教えを受け、霊に燃えて、イエスのことを正確に語り、また教えていたが、ただヨハネのバプテスマしか知らなかった。彼は会堂で大胆に話し始めた。それを聞いていたプリスキラとアクラは、彼を招き入れて、神の道をもっと正確に彼に説明した。そして、アポロがアカヤへ渡りたいと思っていたので、兄弟たちは彼を励まし、そこの弟子たちに、彼を歓迎してくれるようにと手紙を書いた。彼はそこに着くと、すでに恵みによって信者になっていた人々を大いに助けた。彼は聖書によって、イエスがキリストであることを証明して、力強く、公然とユダヤ人々を論破したからである。(24~28)

1. ミッションホームで確認することがあります

- 1) キリストの奥義です (使 1:1)
- 2) 神の国の祝福です (使 1:3)
- 3) 聖霊の満たしの働きです (使 1:8)

2. ミッションホームで祈る内容があります (使 1:14)

- 1) 個人の祈りと礼拝化です
- 2) 教会の祈りと礼拝化です
- 3) 家庭の祈りと礼拝化です

3. ミッションホームの実があります

- 1) 3千人の弟子が生かされました (使 2:41)
- 2) あらゆるところでみことば運動が起きました (使 2:42)
- 3) 神殿と家で心を合わせて集まるとき、救われる人が多くなりました (使 2:46~47)

にちよう
じゆんぴ

せいじつ (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

17

せいじつ (主の日)

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なるものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

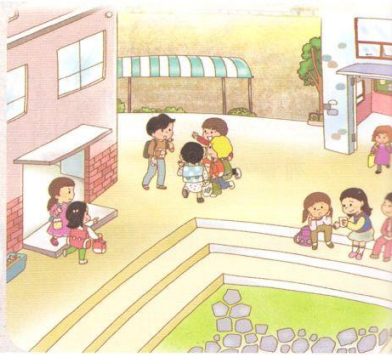
聖書箇所

こんしゅうにぎ
今週握るみことば

こんしゅう いの
今週の祈りの課題

がくいんふくいんか
47か

こんしゅう ちきょうかい
今週の地教会



1 コリ 16:19 アジヤの諸教会がよろしくと言っています。アクラとプリスカ、また彼らの家の教会が主にあって心から、あなたがたによろしくと言っています。

1. 地教会は必ず必要な答えを与えるところです

- 1) キリストによって答えを与えました (使 1:1)
- 2) 神の国の答えを与えました (使 1:3)
- 3) 聖霊の満たしの祝福を味わうようにしました (使 1:8)

2. 地教会で必ずしなければならないやさしがあります

- 1) シャーマニズムに捕われた者をいやしました (使 13:1~12)
- 2) 占いに頼る者をいやしました (使 16:16~18)
- 3) 偶像崇拜で苦しむ者をいやしました (使 19:8~20)

3. コリントでプリスキラとアクラ夫婦に会いました (使 18:1~4)

- 1) パウロは安息日ごとに会堂で論じました (使 18:4)
- 2) プリスキラとアクラ夫婦は、アポロに福音をより正確に説明しました (使 18:24~28)
- 3) プリスキラとアクラ夫婦の家は、コリント地域のミッションホームになりました (1 コリ 16:19)

3. 地教会は目に見えない文化を征服します

- 1) ピリピを生かしました (使 16:15)
- 2) テサロニケを生かしました (使 17:6)
- 3) コリントを生かしました (使 18:4)
- 4) アジヤを生かしました (使 19:8~10)
- 5) 暗やみの文化が打ち砕かれ、イエスの御名を賛美しました (使 19:13)

にちよう
じゆんぴ

聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

24

聖日 (主日)

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。 (ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

こんしゅうにぎ
今週握るみことば

こんしゅう いの かだい
今週の祈りの課題